

平成 30 年度 農林水産情報交流ネットワーク事業 地方調査 農業の持続的発展に関する農産物に求める意識・意向調査(北陸)

農家経済を維持発展させていくためには、主食用米生産から高収益作物への転換により生産性と収益性の高い水田農業に発展させていくことが重要である。そのためには、消費者や流通加工業者の農産物に対するニーズを的確に把握する必要がある。

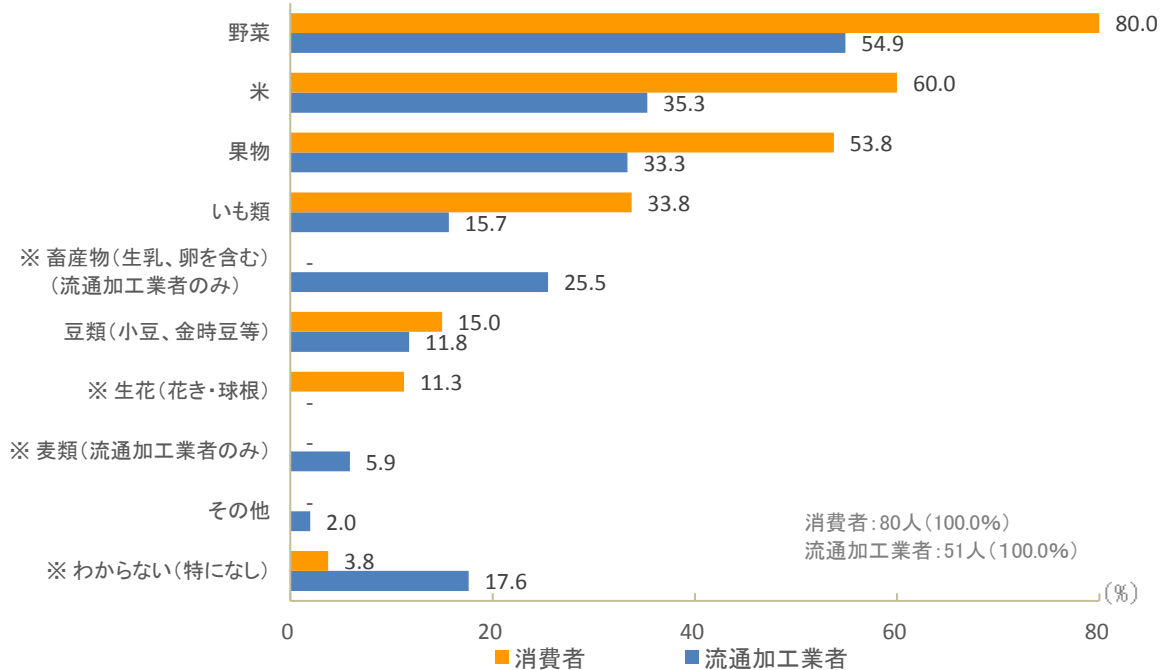
このような状況を踏まえ、本調査は、消費者や流通加工業者の農産物に関する意向を把握するため、北陸管内の農林水産情報交流ネットワーク事業の消費者モニター（農林水産行政に関心がある 20 歳以上の者）(84 人)、流通加工業者モニター(木材関係を除く) (60 人) を対象に実施したものであり、136 人（消費者モニター 80 人、流通加工業者モニター 56 人（うち、農産物取扱者 51 人））から回答を得た結果である。

【調査結果の概要】

1 地場産農産物の購入・取扱いについて（消費者・流通加工業者）

消費者が購入したことのある地場産農産物は「野菜」と回答した割合が 80.0% で最も高く、流通加工業者が今後取扱いを増やしたい（取り扱ってみたい）地場産農産物も「野菜」が 54.9% で最も高くなった。

図 1 消費者が購入したことのある地場産農産物と流通加工業者が今後取扱いを増やしたい地場産農産物（消費者・流通加工業者）（3つ回答）



※ 地場産とは：その県内で生産されたもの

※ 流通加工業者モニターのみに回答の選択肢があったもの：畜産物、麦類。

消費者の回答「生花」と流通加工業者の回答「花き・球根」を同じ欄とした。

消費者の回答「わからない」と流通加工業者の回答「特になし」を同じ欄とした。

2 農産物生産者に求めること（消費者・流通加工業者）

農産物生産者に求めることについて、消費者は「安全性」を求めると回答した割合が最も高く 76.3%となった。

一方、流通加工業者は「必要な時に必要な量の供給」を求めると回答した割合が最も高く 66.7%となった。

図2 農産物生産者に求めること（消費者）（3つ回答）

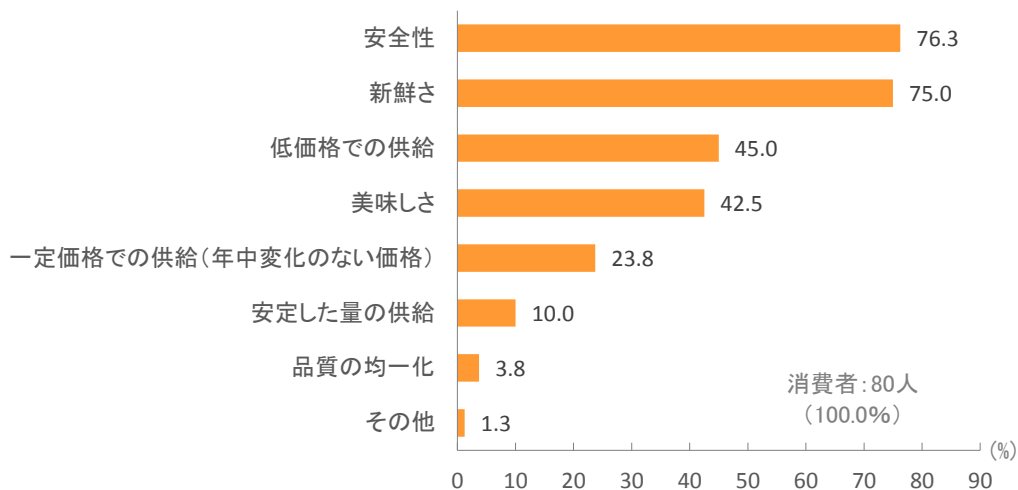
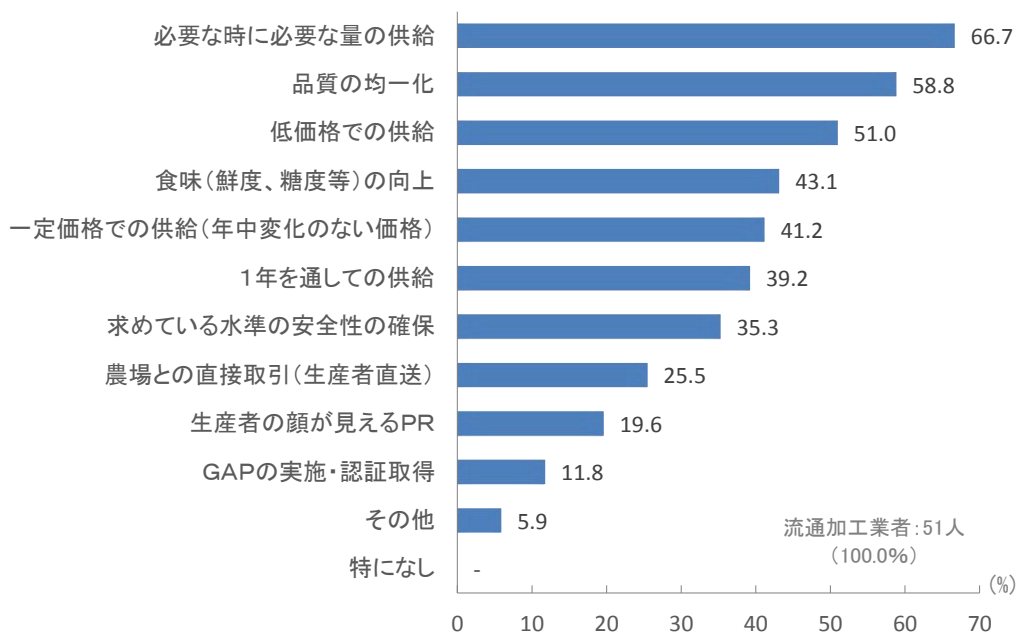


図3 農産物生産者に求めること（流通加工業者）（複数回答）

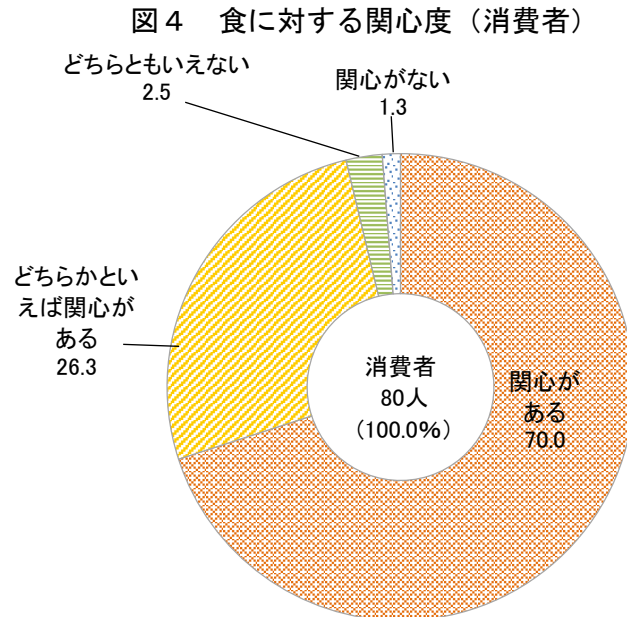


【調査結果】

1 消費者モニターの食の関心度と農産物の購入先

(1) 食に対する関心度（消費者）

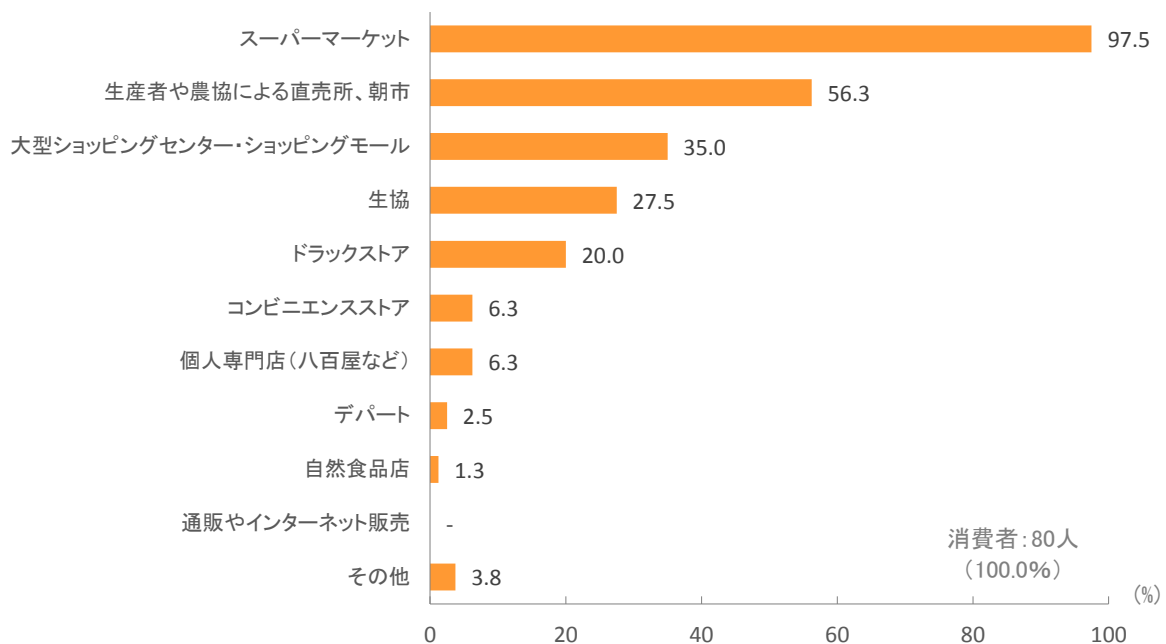
食に対して「関心がある」と回答した割合が70.0%で最も高く、次いで「どちらかといえば関心がある」(26.3%)となっており、これらを合わせると96.3%となった。



(2) 農産物の購入先（消費者）

農産物を主に購入するところは、「スーパーマーケット」と回答した割合が97.5%で最も高く、次いで「生産者や農協による直売所、朝市」(56.3%)、「大型ショッピングセンター・ショッピングモール」(35.0%)の順であった。

図5 農産物の購入先（消費者）（3つ回答）

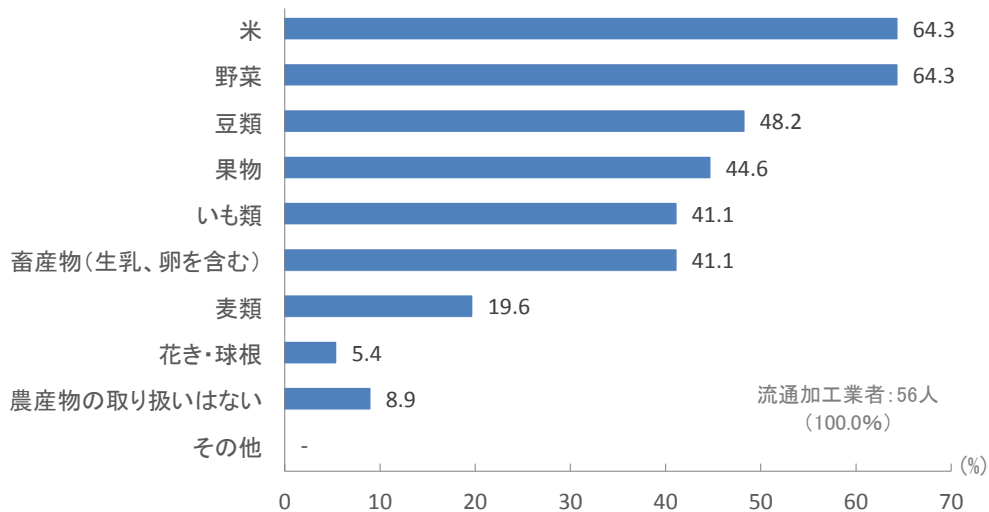


2 流通加工業者モニターの取扱農産物

(1) 取り扱っている農産物の種類（流通加工業者）

現在、取り扱っている農産物は「米」、「野菜」と回答した割合がそれぞれ 64.3% で最も高く、次に「豆類」（48.2%）の順であった。

図6 取り扱っている農産物の種類（流通加工業者）（複数回答）



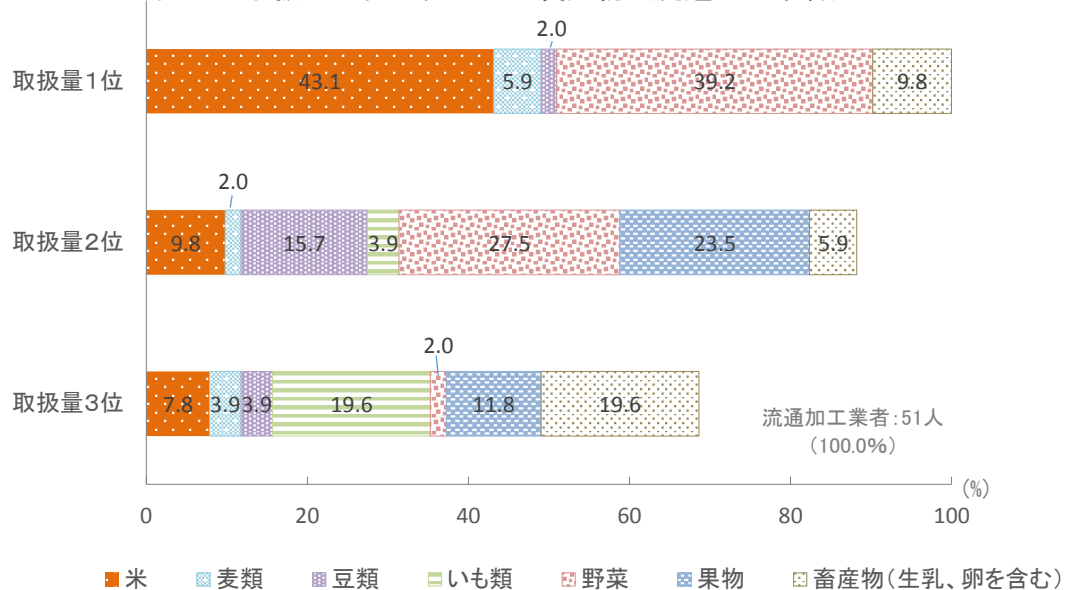
(2) 取扱量上位3位までの農産物（流通加工業者）

複数の農産物を取り扱っている場合、取扱量が1位は「米」と回答した割合が 43.1% で最も高く、次いで「野菜」（39.2%）、「畜産物（生乳、卵を含む）」（9.8%）の順であった。

取扱量が2位は、「野菜」と回答した割合が 27.5% で最も高く、次いで「果物」（23.5%）、「豆類」（15.7%）の順であった。

取扱量3位は、「いも類」、「畜産物（生乳、卵を含む）」と回答した割合がそれぞれ 19.6% で最も高く、次いで「果物」（11.8%）、「米」（7.8%）の順であった。

図7 取扱量上位3位までの農産物（流通加工業者）

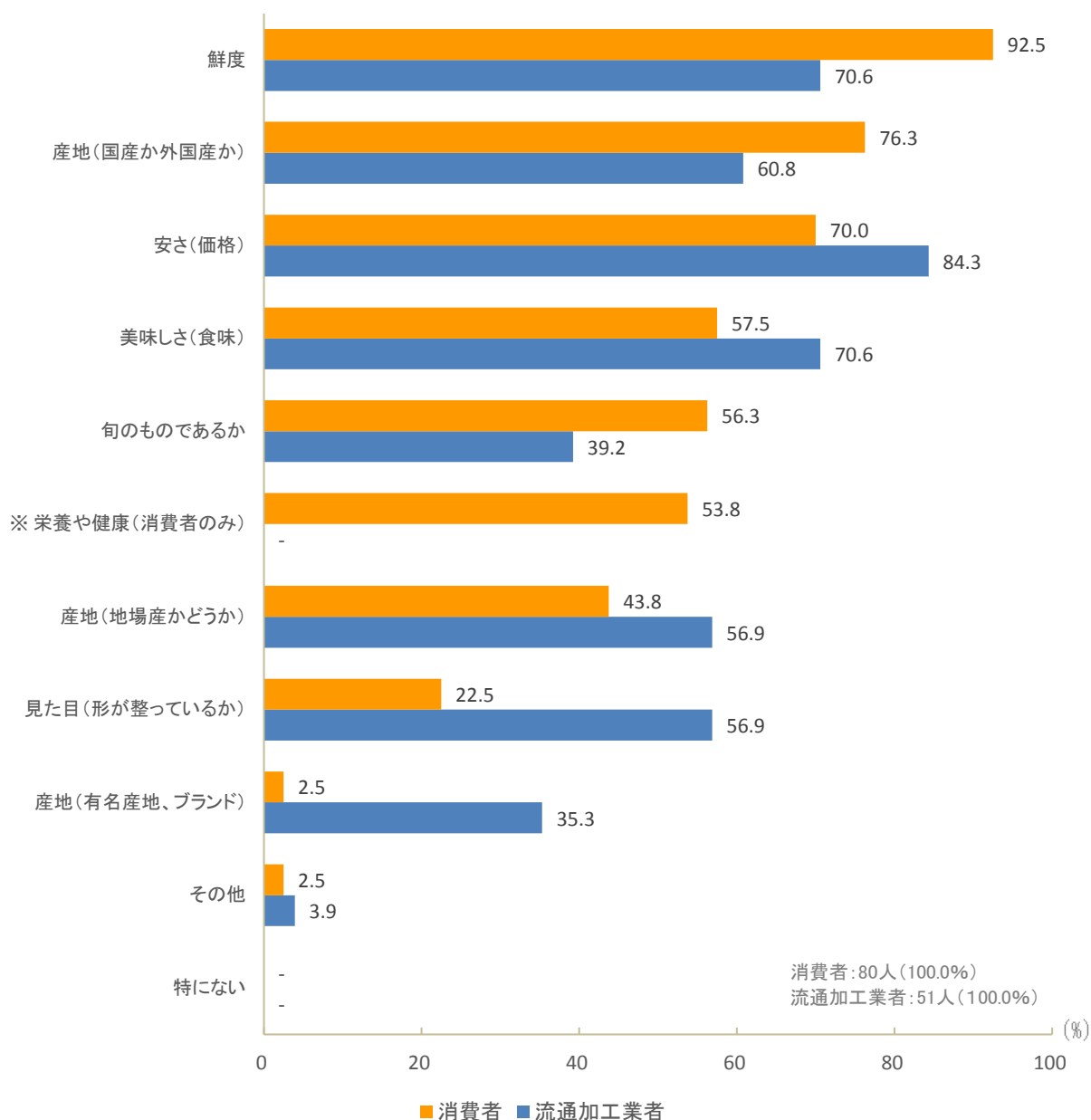


3 農産物を購入する際（取り扱う際）の留意点（消費者・流通加工業者）

消費者が農産物を購入する際に留意する点は、「鮮度」と回答した割合が 92.5% で最も高く、次いで「産地（国産か外国産か）」（76.3%）、「安さ」（70.0%）の順であった。

一方、流通加工業者が農産物を取り扱う際に重点を置く事項は、「価格」と回答した割合が 84.3% で最も高く、次いで「鮮度」、「食味」（それぞれ 70.6%）の順であった。

図8 消費者が農産物を購入する際の留意点及び流通加工業者が農産物を取り扱う際に重点を置く事項（消費者・流通加工業者）（複数回答）



※ 消費者のみの選択肢

4 国産農産物の取扱状況

(1) 国産農産物の選択状況（消費者・流通加工業者）

消費者が農産物を購入する際に国産と外国産があった場合どちらを選択するかについて、「必ず国産を購入する」と回答した割合が 35.0%、「どちらかといえば国産を購入する」と回答した割合が 53.8%で、これらを合わせて国産を選択する割合は 88.8%であった。

また、「必ず外国産を購入する」、「どちらかといえば外国産を購入する」と回答した者はいなかった。

一方、流通加工業者は国産農産物の取扱いについて、「取り扱っている」と回答した割合は、98.0%、「取り扱っていない」と回答した割合は 2.0%であった。

図9 国産と外国産があった場合の選択状況（消費者）

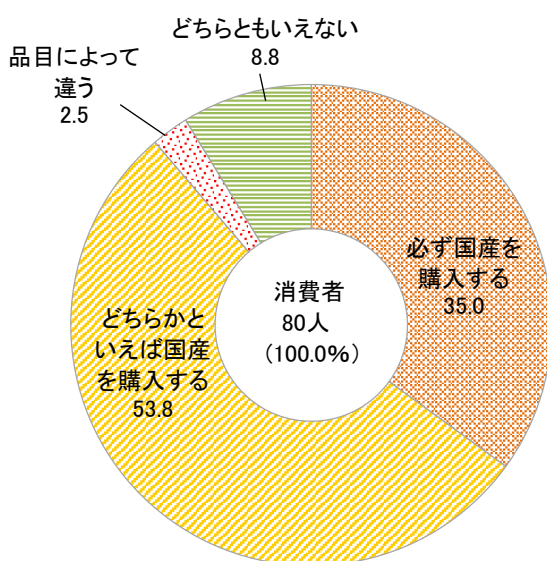
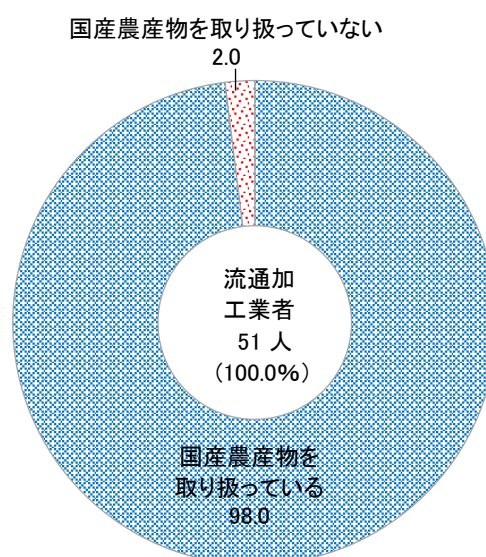


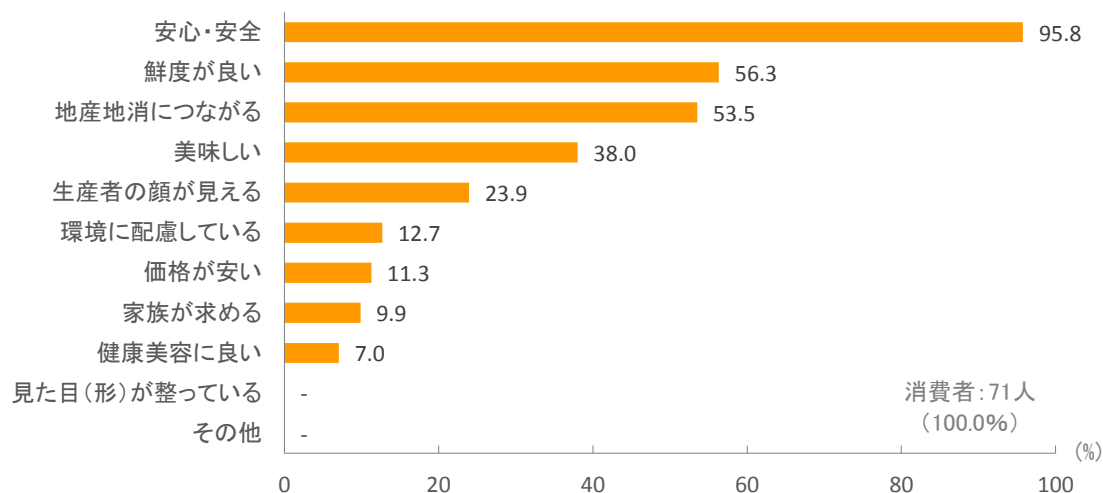
図10 国産農産物の取扱状況（流通加工業者）



(2) 国産農産物を購入する理由（消費者）

国産農産物を必ず、もしくはどちらかといえば購入すると答えた消費者が、国産農産物を購入する理由は、「安心・安全」と回答した割合が 95.8%で最も高く、次いで「鮮度が良い」(56.3%)、「地産地消につながる」(53.5%)の順であった。

図11 国産農産物を購入する理由（消費者）（複数回答）



5 地場産農産物の取扱状況

(1) 地場産農産物の購入・取扱状況（消費者・流通加工業者）

消費者が、農産物を購入する際に、地場産と他の国産農産物があった場合どちらを購入するかについて、「地場産を購入する（購入することが多い）」と回答した割合が 61.3%、「地場産にはこだわらない」と回答した割合が 38.8%であった。

一方、国産農産物を取り扱っていると回答した流通加工業者すべてが地場産を取り扱っていると回答したが、地場産農産物の取扱割合（重量ベース）は「2割未満」と回答した割合が 32.0%と最も高く、次いで「8割以上」（24.0%）、「2割～4割未満」（16.0%）、「4割～6割未満」（それぞれ 16.0%）の順であった。

図 12 地場産と他の国産農産物があった場合の購入状況（消費者）

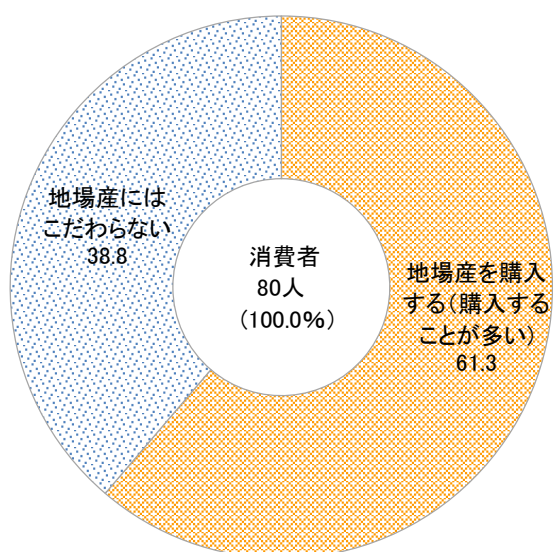
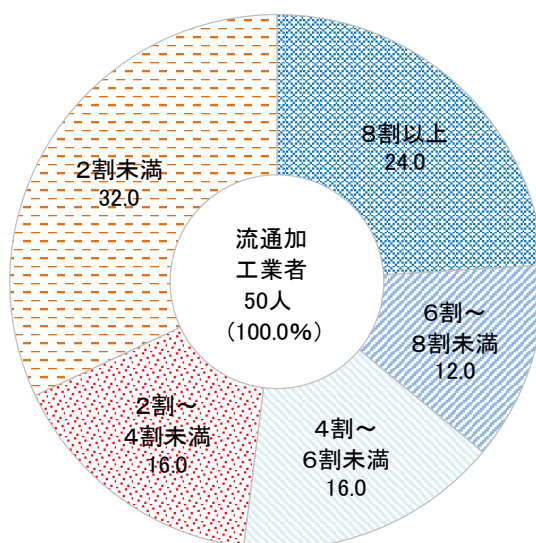


図 13 地場産農産物の取扱状況（重量ベース）（流通加工業者）



※ 地場産とは：その県内で生産されたもの

(2) 地場産農産物の魅力と購入をためらう要因（消費者）

地場産農産物を購入することが多いと回答した消費者において、地場産農産物の魅力について、「新鮮さ」と回答した割合が85.7%で最も高く、次いで「安心・安全と感じる」(69.4%)、「地元の農家を応援できる」(51.0%)の順であった。

一方、地場産農産物を購入する際にためらう要因（すべての消費者）について、「価格が高い」と回答した割合が71.3%で最も高く、次いで「量が安定供給されない」(32.5%)、「品質が一定ではない」(22.5%)の順であった。

図 14 地場産農産物の魅力（消費者）（3つ回答）

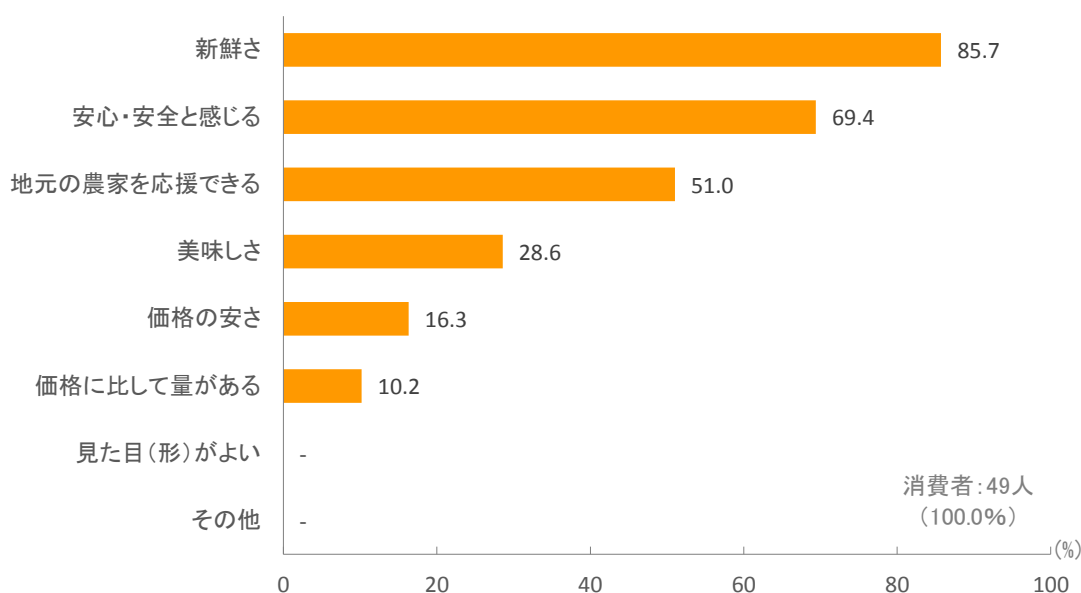
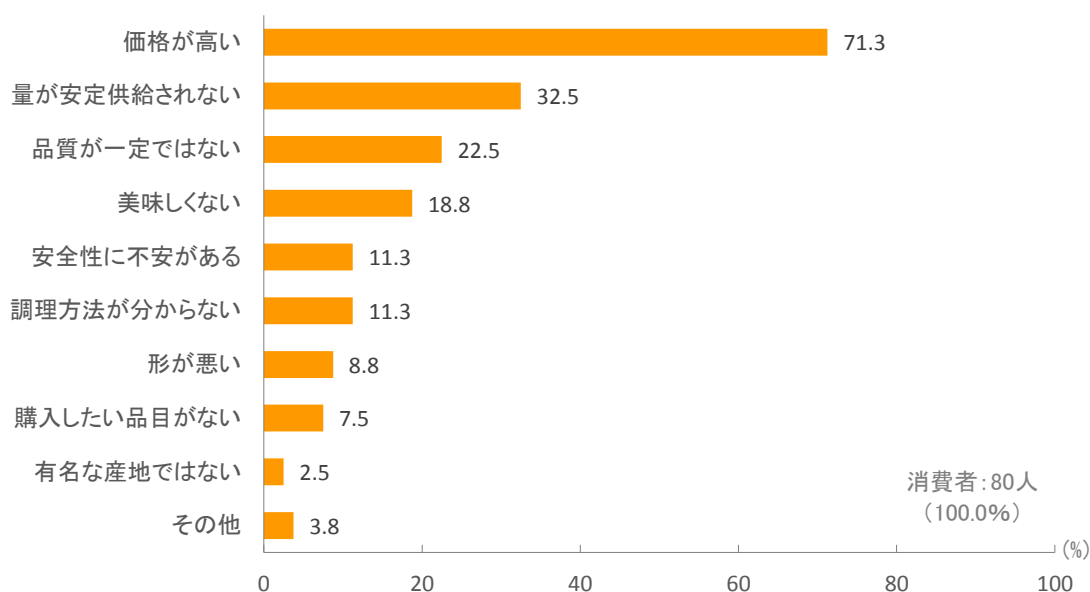


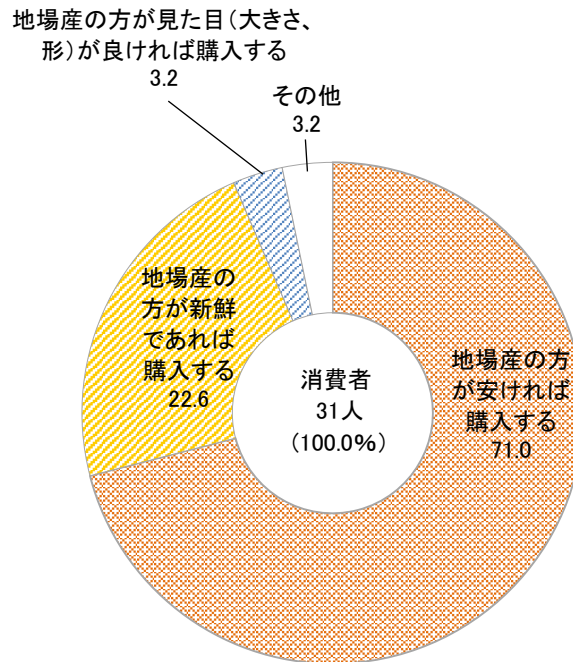
図 15 地場産農産物の購入をためらう要因（消費者）（3つ回答）



(3) 地場産農産物にこだわらない者が地場産農産物を購入する決め手（消費者）

地場産農産物にこだわらないと回答した消費者が地場産農産物を購入する決め手について、「地場産の方が安ければ購入する」と回答した割合が71.0%で最も高く、次いで「地場産の方が新鮮であれば購入する」(22.6%)、「地場産の方が見た目（大きさ、形）が良ければ購入する」、 「その他」(それぞれ3.2%)の順であった。

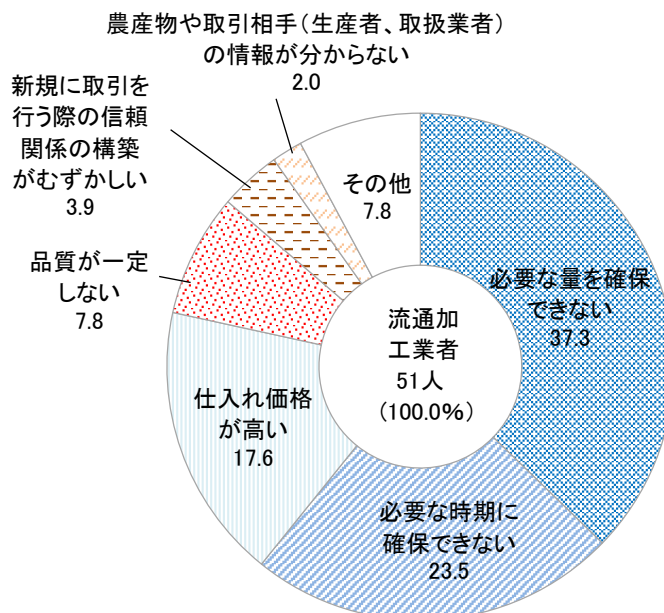
図 16 地場産農産物にこだわらない者が地場産農産物を購入する決め手（消費者）



(4) 地場産農産物を取り扱う際の課題（流通加工業者）

流通加工業者が地場産農産物を取り扱う際の課題は、「必要な量を確保できない」と回答した割合が37.3%と最も高く、次いで「必要な時期に確保できない」(23.5%)、「仕入れ価格が高い」(17.6%)の順であった。

図 17 地場産農産物を取り扱う際の課題（流通加工業者）



(5) 地場産農産物を取り扱うことによる売上げ向上への寄与状況と今後の取扱いの意向（流通加工業者）

地場産農産物を取り扱っていると回答した流通加工業者において、地場産農産物を取り扱うことによる売上げ向上への寄与度について、「寄与している」と回答した割合が76.0%であった。

また、今後の取扱い割合について、「使用割合を増やしたい」と回答した割合が60.0%と最も高く、次いで「現状の使用割合を維持」（38.0%）、「地場産以外の国産の使用を増やしたい」（2.0%）の順であった。

図 18 地場産農産物取扱いによる売上げ向上への寄与状況（流通加工業者）

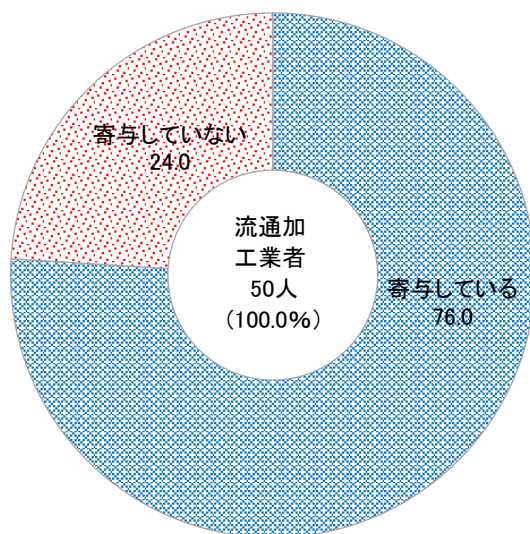
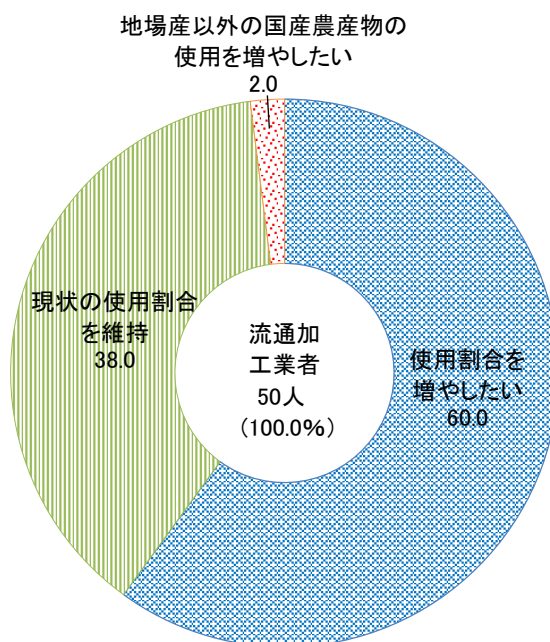


図 19 今後の地場農産物の取扱い意向（流通加工業者）

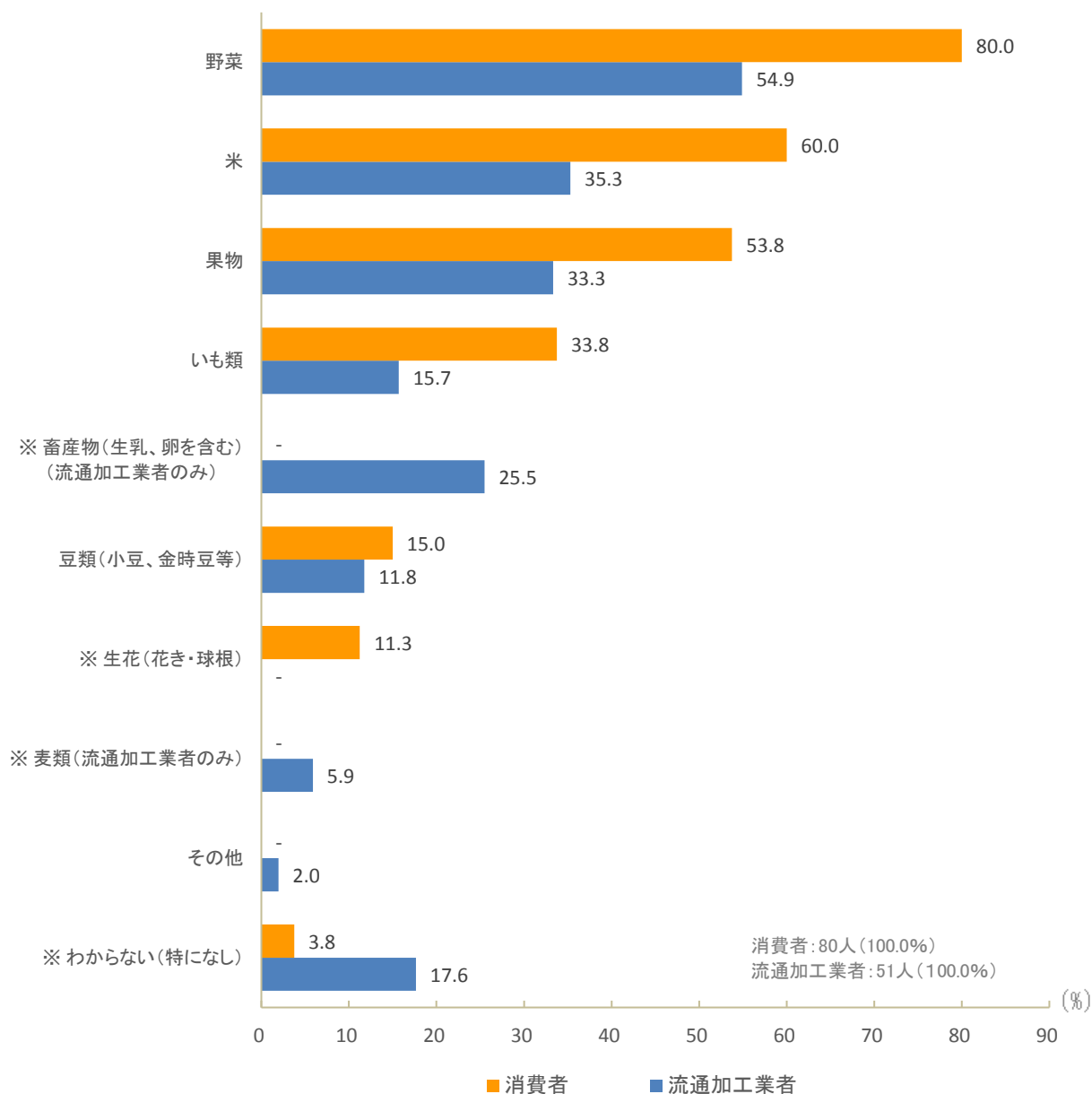


(6) 消費者が購入したことがある地場産農産物と流通加工業者が今後取扱いを増やしたい地場産農産物（消費者・流通加工業者）

消費者が購入したことがある地場産農産物について、「野菜」と回答した割合が80.0%で最も高く、次いで「米」(60.0%)、「果物」(53.8%)の順であった。

一方、流通加工業者が今後、取扱いを増やしたい、もしくは取り扱ってみたい地場産農産物も「野菜」と回答した割合が54.9%と最も高く、次いで「米」(35.3%)、「果物」(33.3%)の順であった。

図20 消費者が購入したことがある地場産農産物と流通加工業者が今後取扱いを増やしたい農産物（消費者・流通加工業者）（3つ回答）



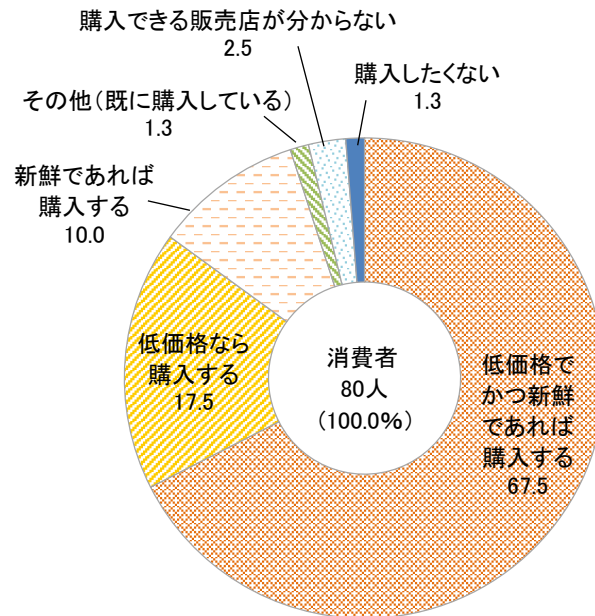
※ 流通加工業者モニターのみに回答の選択肢があったもの：畜産物、麦類。
消費者の回答「生花」と流通加工業者の回答「花き・球根」を同じ欄とした。
消費者の回答「わからない」と流通加工業者の回答「特になし」を同じ欄とした。

6 規格外農産物の取扱状況

(1) 規格外の農産物に対するの購買意欲（消費者）

規格外の地場産農産物の購買意欲について、「低価格でかつ新鮮であれば購入する」と回答した割合が 67.5%と最も高く、次いで「低価格なら購入する」（17.5%）、「新鮮であれば購入する」（10.0%）の順であった。これらとその他（既に購入している）を合わせて、「購入する（している）」と回答した割合は、96.3%であった。

図 21 規格外の農産物に対するの購買意欲（消費者）



(2) 今後の規格外品の取扱意向（流通加工業者）

現在、規格外品を取り扱っていないと回答した割合が 39.2%あった。

また、この流通加工業者において、今後の規格外品の取扱いについて、「自社の製品に向かないので取り扱いたくない」と回答した割合が 40.0%と最も高く、次いで「需要があれば取り扱う」（30.0%）、「量が確保できれば取り扱う」、「需要がないので取り扱いたくない」、「わからない」（それぞれ 10.0%）の順であった。

図 22 現在の規格外品の取扱状況（流通加工業者）

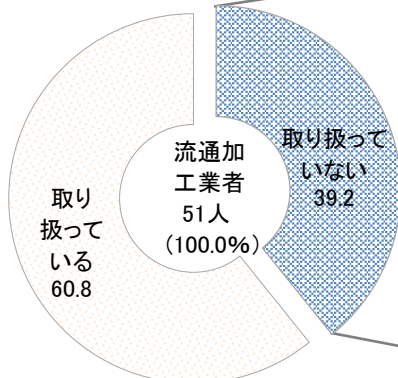
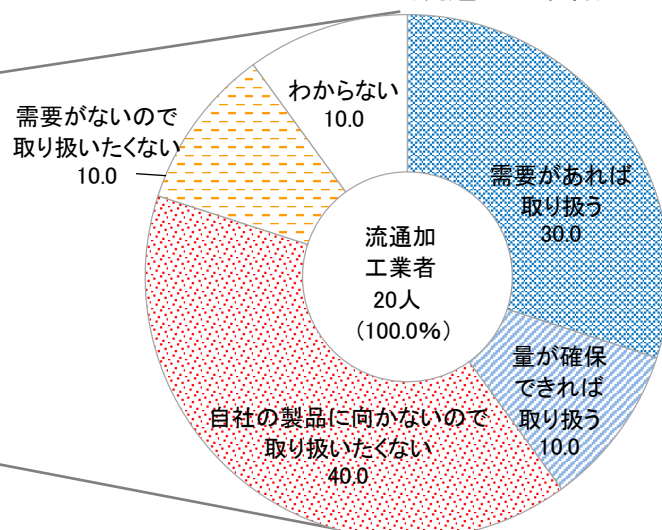


図 23 今後の規格外品の取扱意向（流通加工業者）



7 農産物生産者に求めること（消費者・流通加工業者）

消費者が農産物生産者に求めることについて、「安全性」と回答した割合が76.3%で最も高く、次いで「新鮮さ」（75.0%）、「低価格での供給」（45.0%）の順であった。

一方、流通加工業者は、「必要なときに必要な量の供給」と回答した割合が66.7%と最も高く、次いで「品質の均一化」（58.8%）、「低価格での供給」（51.0%）の順であった。

図 24 農産物生産者に求めること（消費者）（3つ回答）

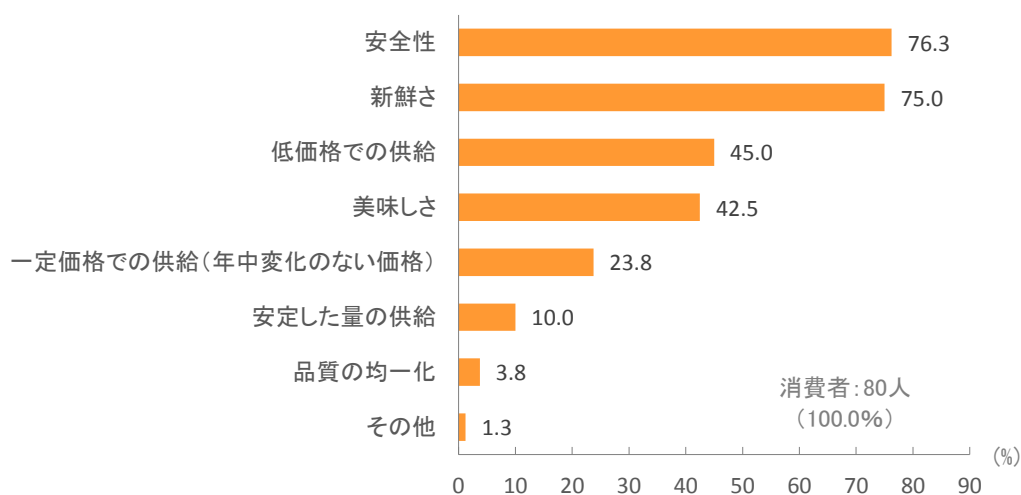
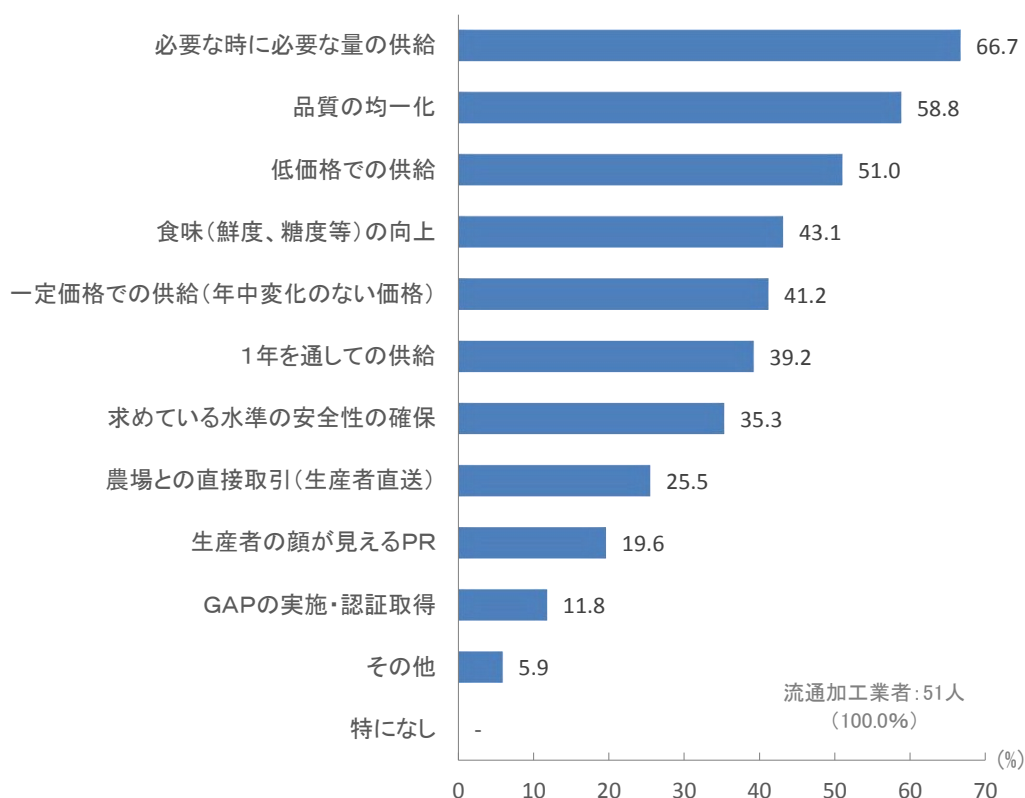


図 25 農産物生産者に求めること（流通加工業者）（複数回答）



【 統 計 表 】

統計表一覧

ページ

1 消費者モニター

(1) 食に対する関心度	15
(2) 農産物の購入先（3つ回答）	15
(3) 農産物を購入する際の留意点（複数回答）	15
(4) 国産と外国産の農産物があった場合の選択状況	15
(5) 国産農産物を購入する理由（複数回答）	16
(6) 国産農産物を購入しない理由（複数回答）	16
(7) 地場産と他の国産農産物があった場合の購入状況	16
(8) 地場産農産物の魅力（3つ回答）	16
(9) 地場産農産物の購入にこだわらない者が地場産農産物を購入する決め手	17
(10) 地場産農産物の購入をためらう要因（3つ回答）	17
(11) 購入したことがある地場産農産物（3つ回答）	17
(12) 規格外農産物に対するの購買意欲	17
(13) 農産物生産者に求めること（3つ回答）	17

2 流通加工業者モニター

(1) 取り扱っている農産物の種類（複数回答）	18
(2) 取扱順位別農産物割合	18
(3) 農産物を取り扱う際に重点を置く事項（複数回答）	18
(4) 国産農産物の取扱状況	18
(5) 地場産農産物の取扱状況	19
(6) 地場産農産物の取扱割合（重量ベース）	19
(7) 地場産農産物取扱いによる売上げ向上への寄与状況	19
(8) 今後の地場産農産物の取扱いの意向	19
(9) 今後、取扱いを増やしたい、もしくは取り扱ってみたい地場産農産物の種類（3つ回答）	19
(10) 地場産農産物を取り扱う際の課題	20
(11) 現在の規格外品の取扱状況	20
(12) 今後の規格外品の取扱いの意向	20
(13) 農産物生産者に求めること（複数回答）	20

利用上の注意

- 1 図中の人数及び統計表の各回答者数は、各設問の有効回答者数である。
- 2 各回答率は、各設問（各区分）の回答者数計を100.0とする割合である。
- 3 表示単位未満を四捨五入したため、計と内訳の積み上げ値は必ずしも一致しない場合がある。
- 4 統計表に使用した記号「－」は、該当する選択肢を選んだ回答者がいないことを表す。
- 5 この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「農業の持続的発展に関する農産物に求める意識・意向調査」（農林水産省北陸農政局）による旨を記載すること。

1 消費者モニター

(1) 食に対する関心度

区分	回答者数	関心がある	どちらかといえば関心がある	どちらともいえない	どちらかといえば関心がない	関心がない
	人	%	%	%	%	%
計	80	70.0	26.3	2.5	-	1.3

(2) 農産物の購入先（3つ回答）

区分	回答者数	大型ショッピングセンター・ショッピングモール	デパート	スーパーマーケット	コンビニエンスストア	生協	生産者や農協による直売所、朝市	個人専門店（八百屋など）	自然食品店
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
計	80	35.0	2.5	97.5	6.3	27.5	56.3	6.3	1.3

区分	ドラッグストア	通販やインターネット販売	その他
	%	%	%
計	20.0	-	3.8

(3) 農産物を購入する際の留意点（複数回答）

区分	回答者数	美味しさ	栄養や健康	見た目（形が整っているか）	鮮度	安さ	旬のものがあるか	産地（国産か外国産か）	産地（地場産かどうか）
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
計	80	57.5	53.8	22.5	92.5	70.0	56.3	76.3	43.8

区分	産地（有名産地、ブランド）	その他	特になし
	%	%	%
計	2.5	2.5	-

(4) 国産と外国産の農産物があった場合の選択状況

区分	回答者数	必ず国産を購入する	どちらかといえば国産を購入する	どちらかといえば外国産を購入する	必ず外国産を購入する	品目によって違う	どちらともいえない
	人	%	%	%	%	%	%
計	80	35.0	53.8	-	-	2.5	8.8

(5) 国産農産物を購入する理由（複数回答）

（(4)で「必ず国産」もしくは「どちらかといえば国産」を購入すると回答した方が回答）

区分	回答者数	価格が安い	美味しい	鮮度が良い	安心・安全	地産地消につながる	生産者の顔が見える	環境に配慮している	健康美容に良い
計	人 71	% 11.3	% 38.0	% 56.3	% 95.8	% 53.5	% 23.9	% 12.7	% 7.0

区分	見た目（形）が整っている	家族が求める	その他
計	% -	% 9.9	% -

(6) 国産農産物を購入しない理由（複数回答）

（(4)で「必ず外国産」もしくは「どちらかといえば外国産」を購入すると回答した方が回答）

区分	回答者数	価格が高い	美味しくない	鮮度が悪い	安心・安全には疑問がある	地産地消につながらない	生産者の顔が見えない	環境に配慮していない	健康美容に良くない
計	人 0	% -	% -	% -	% -	% -	% -	% -	% -

区分	見た目（形）が悪い	家族が求めない	その他
計	% -	% -	% -

(7) 地場産と他の国産農産物があった場合の購入状況

区分	回答者数	地場産を購入する（購入することが多い）	地場産にはこだわらない
計	人 80	% 61.3	% 38.8

(8) 地場産農産物の魅力（3つ回答）

（(7)で「地場産を購入する（購入することが多い）」と回答した方が回答）

区分	回答者数	価格の安さ	美味しさ	新鮮さ	安心・安全と感じる	価格に比して量がある	見た目（形）がよい	地元の農家を応援できる	その他
計	人 49	% 16.3	% 28.6	% 85.7	% 69.4	% 10.2	% -	% 51.0	% -

(9) 地場産農産物の購入にこだわらない者が地場産農産物を購入する決め手
 ((7)で「地場産にはこだわらない」と回答した方が回答)

区 分	回答者数	地場産の方が安ければ購入する	地場産の方が新鮮であれば購入する	地場産の方が見た目(大きさ、形)が良ければ購入する	その他
計	人 31	% 71.0	% 22.6	% 3.2	% 3.2

(10) 地場産農産物の購入をためらう要因 (3つ回答)

区 分	回答者数	価格が高い	美味しくない	形が悪い	量が安定供給されない	品質が一定ではない	安全性に不安がある	購入したい品目がない	有名な産地ではない
計	人 80	% 71.3	% 18.8	% 8.8	% 32.5	% 22.5	% 11.3	% 7.5	% 2.5

区 分	調理方法が分からない	その他
計	% 11.3	% 3.8

(11) 購入したことがある地場産農産物 (3つ回答)

区 分	回答者数	米	豆類(小豆、金時豆等)	いも類	野菜	果物	生花	その他	分からない
計	人 80	% 60.0	% 15.0	% 33.8	% 80.0	% 53.8	% 11.3	% -	% 3.8

(12) 規格外の農産物に対するの購買意欲

区 分	回答者数	低価格なら購入する	新鮮であれば購入する	低価格かつ新鮮であれば購入する	購入したくない	購入できる販売店が分からない	その他
計	人 80	% 17.5	% 10.0	% 67.5	% 1.3	% 2.5	% 1.3

(13) 農産物生産者に求めること (3つ回答)

区 分	回答者数	低価格での供給	一定価格での供給(年中変化のない価格)	新鮮さ	美味しさ	安全性	品質の均一化	安定した量の供給	その他
計	人 80	% 45.0	% 23.8	% 75.0	% 42.5	% 76.3	% 3.8	% 10.0	% 1.3

2 流通加工業者モニター

(1) 取り扱っている農産物の種類（複数回答）

区分	回答者数	米	麦類	豆類	いも類	野菜	果物	花き・球根	畜産物（生乳、卵を含む）
計	56人	64.3%	19.6%	48.2%	41.1%	64.3%	44.6%	5.4%	41.1%

区分	その他	農産物の取扱いはない
計	-%	8.9%

（以下、（1）で「農産物の取扱いはない」と回答した方以外が回答）

(2) 取扱順位別農産物割合（第3位まで回答）

区分	回答者数	取扱量	米	麦類	豆類	いも類	野菜	果物	花き・球根	畜産物（生乳、卵を含む）	回答なし
計	51人	1位	43.1%	5.9%	2.0%	-	39.2%	-	-	9.8%	-
		2位	9.8%	2.0%	15.7%	3.9%	27.5%	23.5%	-	5.9%	11.7%
		3位	7.8%	3.9%	3.9%	19.6%	2.0%	11.8%	-	19.6%	31.4%

(3) 農産物を取り扱う際に重点を置く事項（複数回答）

区分	回答者数	食味	見た目（形が整っているか）	鮮度	価格	旬のものがあるか	産地（国産か外国産か）	産地（地場産かどうか）	産地（有名産地、ブランド）
計	51人	70.6%	56.9%	70.6%	84.3%	39.2%	60.8%	56.9%	35.3%

区分	その他	特にない
計	3.9%	-

(4) 国産農産物の取扱状況

区分	回答者数	国産農産物を取り扱っている	国産農産物を取り扱っていない
計	51人	98.0%	2.0%

(5) 地場産農産物の取扱状況
 ((4) で「国産農産物を取り扱っている」と回答した方が回答)

区 分	回答者数	地場産農産物を取り扱っている	地場産農産物を取り扱っていない
計	人 50	% 100.0	% -

(6) 地場産農産物の取扱割合 (重量ベース)
 ((5) で「地場産農産物を取り扱っている」と回答した方が回答)

区 分	回答者数	2割未満	2割～4割未満	4割～6割未満	6割～8割未満	8割以上
計	人 50	% 32.0	% 16.0	% 16.0	% 12.0	% 24.0

(7) 地場産農産物取扱いによる売上げ向上への寄与状況
 ((5) で「地場産農産物を取り扱っている」と回答した方が回答)

区 分	回答者数	寄与している	寄与していない
計	人 50	% 76.0	% 24.0

(8) 今後の地場産農産物の取扱いの意向
 ((5) で「地場産農産物を取り扱っている」と回答した方が回答)

区 分	回答者数	使用割合を増やしたい	現状の使用割合を維持	地場産以外の国産農産物の使用を増やしたい	外国産農産物の使用を増やしたい
計	人 50	% 60.0	% 38.0	% 2.0	% -

(9) 今後、取扱いを増やしたい、もしくは取り扱ってみたい地場産農産物の種類 (3つ回答)

区 分	回答者数	米	麦類	豆類	いも類	野菜	果物	花き・球根	畜産物 (生乳、卵を含む)
計	人 51	% 35.3	% 5.9	% 11.8	% 15.7	% 54.9	% 33.3	% -	% 25.5

区 分	その他	特になし
計	% 2.0	% 17.6

(10) 地場産農産物を取り扱う際の課題

区分	回答者数	仕入れ価格が高い	必要な量を確保できない	必要な時期に確保できない	品質が一定しない	農産物や取引相手（生産者、取扱業者）の情報が分からない	新規に取引を行う際の信頼関係の構築がむずかしい	その他
	人	%	%	%	%	%	%	%
計	51	17.6	37.3	23.5	7.8	2.0	3.9	7.8

(11) 現在の規格外品の取扱状況

区分	回答者数	取り扱っている	取り扱っていない
	人	%	%
計	51	60.8	39.2

(12) 今後の規格外品の取扱いの意向

（(11)で「規格外品を取り扱っていない」と回答した方が回答）

区分	回答者数	需要があれば取り扱う	量が確保できれば取り扱う	需要がないので取り扱いたくない	量の確保ができないので取り扱いたくない	自社の製品に向かないので取り扱いたくない	分からない
	人	%	%	%	%	%	%
計	20	30.0	10.0	10.0	-	40.0	10.0

(13) 農産物生産者に求めること（複数回答）

区分	回答者数	低価格での供給	一定価格での供給（年中変化のない価格）	必要な時に必要な量の供給	品質の均一化	1年を通じた供給	求めている水準の安全性の確保	GAPの実施・認証取得	食味（鮮度、糖度等）の向上
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
計	51	51.0	41.2	66.7	58.8	39.2	35.3	11.8	43.1

区分	生産者の顔が見えるPR	農場との直接取引（生産者直送）	その他	特になし
	%	%	%	%
計	19.6	25.5	5.9	-

【調査事項】

＜消費者モニター用＞

【注：本調査の対象となる農産物は、豆類、いも類、野菜、果物、生花のことをいい、米、肉、卵、乳製品は含まないものとしてお答えください。】

問1 全員の方にお聞きします。

あなた（家庭内で食事の準備をされる方）は「食」について関心がありますか。
該当する選択肢を1つ選択し、その番号に○をつけてください。

- 1 関心がある
- 2 どちらかといえば関心がある
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば関心がない
- 5 関心がない

問2 全員の方にお聞きします。

あなた（家庭内で食事の準備をされる方）は農産物を主にどこで購入しますか。
該当する選択肢を3つまで選択し、その番号に○をつけてください。
その他を選択した場合は具体的に記入してください。

- 1 大型ショッピングセンター・ショッピングモール
- 2 デパート
- 3 スーパーマーケット
- 4 コンビニエンスストア
- 5 生協
- 6 生産者や農協による直売所、朝市
- 7 個人専門店（八百屋など）
- 8 自然食品店
- 9 ドラッグストア
- 10 通販やインターネット販売
- 11 その他〔具体的： 〕

問3 全員の方にお聞きします。

あなた（家庭内で食事の準備をされる方）が農産物を購入するときに留意することは何ですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号に○をつけてください。

その他を選択した場合は、具体的に記入してください。

- 1 おいしさ
- 2 栄養や健康
- 3 見た目（形が整っているか）
- 4 鮮度
- 5 安さ
- 6 旬のものであるか
- 7 産地（国産か外国産か）
- 8 産地（地場産※かどうか）
- 9 産地（有名産地、ブランド）
- 10 その他〔具体的に：]
- 11 特にない

※地場産とは： その県内で生産されたもの。

問4－1 全員の方にお聞きします。

あなた（家庭内で食事の準備をされる方）は、農産物を購入するときに国産と外国産があった場合はどちらを購入しますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号に○をつけてください。

- 1 必ず国産を購入する
- 2 どちらかといえば国産を購入する
- 3 どちらかといえば外国産を購入する
- 4 必ず外国産を購入する
- 5 品目によって違う
- 6 どちらともいえない

問4-2 問4-1で「1」「2」を選択した方にお聞きします。

国産農産物を購入する理由は何ですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号に○をつけてください。

その他を選択した場合は、具体的に記入してください。

- 1 価格が安い
- 2 美味しい
- 3 鮮度が良い
- 4 安心・安全
- 5 地産地消につながる
- 6 生産者の顔が見える
- 7 環境に配慮している
- 8 健康美容に良い
- 9 見た目（形）が整っている
- 10 家族が求める
- 11 その他〔具体的に： 〕

問4-3 問4-1で「3」「4」を選択した方にお聞きします。

国産農産物を購入しない理由は何ですか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号に○をつけてください。

その他を選択した場合は、具体的に記入してください。

- 1 価格が高い
- 2 美味しくくない
- 3 鮮度が悪い
- 4 安心・安全には疑問がある
- 5 地産地消につながらない
- 6 生産者の顔が見えない
- 7 環境に配慮していない
- 8 健康美容に良くない
- 9 見た目（形）が悪い
- 10 家族が求めない
- 11 その他〔具体的： 〕

問4-4 問4-1で「5」を選択した方にお聞きします。
どの品目の場合、外国産を購入しますか。
品目と理由を下記に記入してください。

外国産しか購入しない農産物とその理由：

問5-1 全員の方にお聞きします。

あなた（家庭内で食事の準備をされる方）は、農産物を購入するときに地場産と他の国産があった場合、地場産を購入しますか。
該当する選択肢を1つ選択し、その番号に○をつけてください。

- 1 地場産を購入する（購入することが多い）
- 2 地場産にはこだわらない

問5-2 問5-1で「1」を選択した方にお聞きします。

あなた（家庭内で食事に準備をされる方）にとって、地場産農産物の魅力は何ですか。
該当する選択肢を上位3つまで選択し、その番号に○をつけてください。
その他を選択した場合は、具体的に記入してください。

- 1 価格の安さ
- 2 美味しさ
- 3 新鮮さ
- 4 安心・安全と感じる
- 5 価格に比して量がある
- 6 見た目（形）がよい
- 7 地元の農家を応援できる
- 8 その他〔具体的：

〕

問5-3 問5-1で「2」を選択した方にお聞きします。

普段は地場産農産物にはこだわらないが、地場産農産物を購入することを想定したときに決め手となることは何ですか。

最も優先する選択肢を1つ選択し、その番号に○をつけてください。

その他を選択した場合は、具体的に記入してください。

- 1 地場産の方が安ければ購入する
- 2 地場産の方が新鮮であれば購入する
- 3 地場産の方が見た目（大きさ、形）が良ければ購入する
- 4 その他〔具体的に： 〕

問6 全員の方にお聞きします。

地場産農産物を購入しようとする際、購入をためらう要因は何ですか。

該当する選択肢を上位3つまで選択し、その番号に○をつけてください。

購入したい品目がない、その他を選択した場合は、具体的に記入してください。

- 1 価格が高い
- 2 美味しくない
- 3 形が悪い
- 4 量が安定供給されない
- 5 品質が一定ではない
- 6 安全性に不安がある
- 7 購入したい品目がない〔具体的に： 〕
- 8 有名な産地ではない
- 9 調理方法が分からない
- 10 その他〔具体的に： 〕

問7 全員の方にお聞きします。

地場産農産物で購入したことがある農産物は何ですか。

該当する選択肢を上位3つまで選択し、その番号に○をつけてください。

野菜、果物、その他を選択した場合は、具体的に品目名を記入してください。

（この問のみ農産物に米を含みます。）

- 1 米
- 2 豆類（小豆、金時豆等）
- 3 いも類
- 4 野菜〔具体的に： 〕
- 5 果物〔具体的に： 〕
- 6 生花
- 7 その他〔具体的に： 〕
- 8 わからない

問8 全員の方にお聞きします。

（ふだん購入している地場産農産物以外に）どんな品目の地場産農産物があったら購入したいですか。

品目名を下記に記入してください。

品目名：

問9 全員の方にお聞きします。

あなた（家庭内で食事の準備をされる方）は規格外※の農産物に対して購買意欲はありますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号に○をつけてください。

その他を選択した場合は、具体的に記入してください。

- 1 低価格なら購入する
- 2 新鮮であれば購入する
- 3 低価格でかつ新鮮であれば購入する
- 4 購入したくない
- 5 購入できる販売店が分からない
- 6 その他〔具体的に： 〕

※規格外とは：品目毎に定められた商品の大小、重量及び形状などの基準から外れていて、一般に流通していない商品。

問10 全員の方にお聞きします。

あなた（家庭内で食事の準備をされる方）は農産物生産者に対して何を求めますか。

該当する選択肢を上位3つまで選択し、その番号に○をつけてください。
その他を選択した場合は、具体的に記入してください。

- 1 低価格での供給
- 2 一定価格での供給（年中変化のない価格）
- 3 新鮮さ
- 4 おいしさ
- 5 安全性
- 6 品質の均一化
- 7 安定した量の供給
- 8 その他〔具体的に： 〕

<流通加工業者モニター用>

問1 全員の方にお聞きします。

取り扱っている農産物の種類を選択し、その番号に○をつけてください。
また、取扱量の多いものから順に3つまで（ ）に番号をつけてください。
その他を選択した場合は、具体的に記入してください。

- 1 () 米
- 2 () 麦類
- 3 () 豆類
- 4 () いも類
- 5 () 野菜
- 6 () 果物
- 7 () 花き・球根
- 8 () 畜産物（生乳、卵を含む）
- 9 () その他〔具体的に： 〕
- 10 () 農産物の取り扱いはない → 調査は終了です。

問2 農産物を取り扱っている方全員にお聞きします。
あなたが農産物を取り扱う際に何に重点を置きますか。
該当する選択肢を全て選択し、その番号に○をつけてください。

- 1 食味
- 2 見た目（形が整っているか）
- 3 鮮度
- 4 価格
- 5 旬のものであるか
- 6 産地（国産か外国産か）
- 7 産地（地場産かどうか）
- 8 産地（有名産地、ブランド）
- 9 その他〔具体的に： 〕
- 10 特にない

問3 農産物を取り扱っている方全員にお聞きします。
あなたは、現在、国産農産物を取り扱っていますか。
該当する選択肢を1つ選択し、その番号に○をつけてください。

- 1 取り扱っている -----> (問4-1へ)
- 2 取り扱っていない -----> (問5へ)

問4-1 問3で「1」を選択した方にお聞きします。
あなたは、現在、国産農産物のうち地場産[※]農産物を取り扱っていますか。
該当する選択肢を1つ選択し、その番号に○をつけてください。

- 1 取り扱っている -----> (問4-2へ)
- 2 取り扱っていない -----> (問5へ)

※地場産とは：その県内で生産されたもの。

問4-2 問4-1で「1」を選択した方にお聞きします。

地場産農産物の取扱割合（重量ベース）はどの程度ですか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号に○をつけてください。

- 1 2割未満
- 2 2割～4割未満
- 3 4割～6割未満
- 4 6割～8割未満
- 5 8割以上

問4-3 問4-1で「1」を選択した方にお聞きします。

地場産農産物を取り扱うことによって、売上げ向上に寄与していますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号に○をつけてください。

- 1 はい
- 2 いいえ

問4-4 問4-1で「1」を選択した方にお聞きします。

今後、地場産農産物の取扱いを増やしたいですか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号に○をつけてください。

- 1 使用割合を増やしたい
- 2 現状の使用割合を維持
- 3 地場産以外の国産農産物の使用を増やしたい
- 4 外国産農産物の使用を増やしたい

問5 農産物を取り扱っている方全員にお聞きします。
今後、取扱いを増やしたい、もしくは取り扱ってみたい地場産農産物は何ですか。

該当する選択肢を3つまで選択し、その番号に○をつけてください。
野菜、果物、畜産物、その他を選択した場合は、具体的に記入してください。

- 1 米
- 2 麦類
- 3 豆類
- 4 いも類
- 5 野菜〔具体的に： 〕
- 6 果物〔具体的に： 〕
- 7 花き・球根
- 8 畜産物（生乳、卵を含む）〔具体的に： 〕
- 9 その他〔具体的： 〕
- 10 特になし

問6 農産物を取り扱っている方全員にお聞きします。
地場産農産物を取り扱う際の課題は何ですか。
該当する選択肢を1つ選択し、その番号に○をつけてください。
その他を選択した場合は、具体的に記入してください。

- 1 仕入れ価格が高い
- 2 必要な量を確保できない
- 3 必要な時期に確保できない
- 4 品質が一定しない
- 5 農産物や取引相手（生産者、取扱業者）の情報が分からない
- 6 新規に取引を行う際の信頼関係の構築がむずかしい
- 7 その他〔具体的に： 〕

問7-1 農産物を取り扱っている方全員にお聞きします。

規格外品を取り扱っていますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号に○をつけてください。

- 1 取り扱っている -----> (問8へ)
- 2 取り扱っていない -----> (問7-2へ)

問7-2 問7-1で「2」を選択した方にお聞きします。

今後、規格外品を取り扱いたいと思いますか。

該当する選択肢を1つ選択し、その番号に○をつけてください。

- 1 需要があれば取り扱う
- 2 量が確保できれば取り扱う
- 3 需要がないので取り扱いたくない
- 4 量の確保ができないので取り扱いたくない
- 5 自社の製品に向かないので取り扱いたくない
- 6 わからない

問8 全員の方にお聞きします。

あなたは農産物生産者がどのような対応を行えば、その農産物生産者の生産物を取り扱いたいと思いますか。

該当する選択肢を全て選択し、その番号に○をつけてください。

その他を選択した場合は、具体的に記入してください。

- 1 低価格での供給
- 2 一定価格での供給 (年中変化のない価格)
- 3 必要な時に必要な量の供給
- 4 品質の均一化
- 5 1年を通しての供給
- 6 求めている水準の安全性の確保
- 7 GAPの実施・認証取得
- 8 食味(鮮度、糖度等)の向上
- 9 生産者の顔が見えるPR
- 10 農場との直接取引(生産者直送)
- 11 その他〔具体的に： _____〕
- 12 特になし

【 調査の概要 】

1 調査の目的

北陸地方は、耕地面積に占める水田の割合が約9割、農業産出額に占める米の割合は約6割と、米に特化した構造となっている。

一方、農業就業者の高齢化や減少が進行し、後継者不足が深刻になるとともに、主食用米の需要量は、食生活の多様化や人口の減少等から減少する傾向にある。

農家経済を維持・発展させていくためには、主食用米生産から高収益作物への転換により生産性と収益性の高い農業を実現していくことが必要であり、行政・生産者団体・現場が一体となった取り組みに加え、消費者ニーズや販売事業者ニーズを的確に捉えた生産が重要となっている。

このような状況を踏まえ、流通加工業者並びに消費者の皆様の意向や実情を把握し、施策推進に必要な課題、解決策の参考とすることを目的として本調査を実施した。

2 調査の対象

北陸管内の農林水産情報交流モニターのうち、流通加工業者モニター（木材関係を除く）と消費者モニターを対象とした。

（参考）

農林水産情報交流モニターとは、農林水産行政に対する意見・要望を把握する目的として、広く国民から以下の区分毎に公募等により選ばれた方である。

※モニターの区分及び条件

生産者モニター

農業者モニター：農業経営体の経営者

林業者モニター：林業経営体の経営者

漁業者モニター：漁業経営体のうち、個人経営体の経営者

流通加工業者モニター：食品製造、食品卸売、食品小売、外食産業及び木材関係の経営に携わっている者

消費者モニター：農林水産行政に関心がある20歳以上の者

3 調査内容

農業の持続的発展に関する農産物に求める実情と意向の把握

4 調査時期

平成30年11月1日（木）～11月20日（火）

5 調査方法

北陸農政局統計部統計企画課から、対象モニターへの往復郵送調査により実施した。

6 調査対象者数及び回収率

区 分	対象者数 (人)	回答者数 (人)	回収率 (%)
流通加工業者モニター (木材関係を除く)	60	56	93.3
消費者モニター	84	80	95.2

7 集計方法

各項目とも、単純集計により集計した。

【ホームページ掲載案内】

- 各種農林水産統計調査結果は、農林水産省北陸農政局ホームページ中の統計情報でご覧頂けます。

【<http://www.maff.go.jp/hokuriku/stat/>】

お問い合わせ先

北陸農政局 統計部 統計企画課

電話番号 代表 076-263-2161

直通 076-232-4892

◎本調査結果について (内線：3622)

◎農林水産統計全般について (内線：3623)

F A X 076-234-8332